

(様式第1号)

平成28年度第1回 芦屋市立図書館協議会 会議録

日 時	平成28年11月10日(木) 14時～15時10分
場 所	芦屋市立図書館本館2階集会室
出席者	委員長 笹倉 剛 委員 枝元 益祐 委員 北里佐和子 委員 布谷 忠司 委員 松本 素子 委員 水谷 孝子 事務局 川原社会教育部長, 丸尾館長, 石本館長補佐, 越智整理係主席係長, 末広奉仕係主席係長, 森位
欠席者	熊本 潤子 松本 淳子
会議の公開	■ 公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- ① 平成27年度事業について
- ② その他

2 提出資料

平成28年度 第1回 芦屋市立図書館協議会 資料

3 審議経過

(協議会開会)

(笹倉委員長) ただ今から、平成28年度第1回図書館協議会を開会します。

最初に、本日の委員の出席状況について報告をお願いします。

(丸尾館長) 委員定数8名中6名の委員が出席されておられます。芦屋市図書館設置条例施行規則第33条の2の規定で、過半数以上の出席で会議は成立しております。

(笹倉委員長) 次に、「芦屋市情報公開条例第19条」に基づき、この会議は

原則公開としますが、特にご意見がなければ公開とさせていただくことにご異議ございませんか。異議がないようですので、この会議は公開とします。続きまして、芦屋市情報公開条例第7条に公文書の公開義務の規定で、本日の委員会の内容は原則公開と考えております。なお、公開内容としましては、ご発言いただいた委員のお名前も含め芦屋市ホームページで公開いたします。

それから、本日は、特に協議会の傍聴をされる方はおられますか。

(丸尾館長) 今のところございませんが、傍聴の方がお見えになりましたら、諮らせていただくこととなりますので、よろしくをお願いします。

(笹倉委員長) では、平成27年度事業について議題といたします。事務局から説明をお願いします。

(丸尾館長) (事務局より、平成27年度事業について報告)

平成27年度の図書館事業の説明は以上です。

(笹倉委員長) ありがとうございます。ただ今の説明につきまして質問やご意見はございませんか。

(水谷委員) 感想でもいいですか。絵本の貸出や子どもの参加も増えて、いろいろな取組に工夫をしていただき成果をだしていただきうれしいなと思ってお聞きしました。

(笹倉委員長) 他に感想でも何でも結構ですのでお願いします。

(水谷委員) 点字録音図書利用状況にあわせて、点字図書受入状況についてお聞きしたいのですが、あし笛さんも芦屋点字友の会さんも今までとても熱心にしてくださっていますが、今年度は特に新しい資料が増えたとかということはなかったのですね。受入れ冊数が0と書いてありますがそういうことでしょうか。

(丸尾館長) 実際に利用者さんからリクエストがあってから提供しているものは、点字図書館から借りて貸出すものがメインとなってきておりまして、これまで受け入れていたものというのは他の図書館にないものを当館で作成して提供するという受入していたものですから、昨年度はそういった他の図書館にないもののリクエストがなかったものですからゼロとなっております。

(水谷委員) 点字図書の中に点訳絵本とか点字付絵本とかが入っていますか。

(丸尾館長) 紙ものの図書も含まれています。

(水谷委員) 貸出状況とかがわかれば教えてください。

(丸尾館長) ほぼないです。今は録音図書の方がメインとなっておりまして、皆さんは耳から聞かれる方が多いようです。

(笹倉委員長) デイジー図書は、館内でも聞かれるか、プレクストークがあっ

- て聞かれるということでしょうか。
- (丸尾館長) 直接ご自宅へ郵送する形で提供しております。
- (笹倉委員長) 館内で聞かれることはないですか。
- (丸尾館長) ありません。
- (水谷委員) 点字図書、録音を含めて、お子さんが利用なさっているのはいませんか。
- (丸尾館長) 子どもさんにはこういった資料も図書館にありますと紹介したり、実際に手に取ってもらうことはありますが、その資料を使って情報提供することは今まであまりありませんでした。
- (水谷委員) 目のみえないお母さんが子どもに読んであげようとか、あるいは見えない子どものために点字付きの絵本を借りられるとかはありますか。
- (丸尾館長) 一般開架室に一部点字の本を置いていますので、実際に利用はされている場合もあるかと思えます。一般の資料に紛れて利用されているものもあるかと思えますが、そこは数字としてあがっておりません。
- (水谷委員) 目の見える子どもさんが楽しめる意義も大きいので、そういうことも、今後、検討、整備していただければいいですね。
- (笹倉委員長) ありがとうございます。他にありましたらお願いします。
- (丸尾館長) 図書館年報のことでも構いませんので。ご意見がありましたらお願いします。
- (枝元委員) 年報の6ページですが、3の(3)の年齢別というところで、どの年齢が一番多いかと思っていたのですが、本館に関して言うと50代が一番多い数字となっております。利用者さんの属性を全部調べ上げることはできないですし、やってもいけない部分もありますが、例えば、親子連れとか子育て世代ということを念頭に置いた時に、例えば幼稚園児とかが一人で来るというのは考えにくいので、お父さんお母さんに連れられてくるということを念頭に置いたときに、30代や40代の子育て世代の方がぐっと減ってくるということが見てとれます。
- (水谷委員) 今おっしゃった「～50歳」というのは「40歳代」ということですね。
- (丸尾館長) 8ページを見ていただくと棒グラフになっておりよりわかりやすいのですが、50代ではなくて実際は41歳から50歳までの世代が一番多いということです。
- (枝元委員) 50代ではなく、50歳までということですね。その子育て世代が、例えば50歳までが、どのくらいの子育ての世代なのかというのは、ここの市の状況を分析していないのでわからないのですが、そういった利用の実態とおはなしの会等の事業とかのマッチングを念頭に置かれている

のでしょうか。

(丸尾館長) 利用されている層とか、子どもの事業は特に親御さんも込みで考えていかないといけないなというのは図書館の課題としてあります。その利用実態を踏まえていなかったところにつきましては、図書館の利用実態の調査を考えておりまして、来年度以降の事業に生かしていけたらと考えています。

(枝元委員) 補足してもよろしいでしょうか。マッチングを考えておこなった時に、せつかく事業をされるのですから、人がいっぱい来たとか、話題になった方がいいと思ったものですから、マッチングを念頭に個体数を増やしやすいのではないですかという意味でお話しました。もちろん先ほど館長がおっしゃっていた子どものサービスの親子込みというのは、ブックスタートの概念から言っても当然の話でして、理解されていることだと思いますので、その間、一度分析していただける機会があったらいいかなと思います。

(布谷委員) 先ほど館長が分析をいろいろ勉強されたと言われていましたけれど、意外と働き世代と言われる40代、50代の方が多いんです。そうなるこの方々が開館日である、いわゆるお休みの土曜日や日曜日にどのくらい借りられているとかいうので、だいたい数字は出てくると思います。できれば、曜日別の貸出統計などがとれるのであれば入れていただいたらいいかなと思います。そうすると、お勤めに出かけられるお父さんと一緒なのか、平日でお話しの会とかでお母さんと一緒なのか、ある程度トレンドが見えてくると思いますので。そういったところを、一度気をつけていただいたらと思います。

(北里委員) 新しく行った図書館行事に関わっているボランティアの一員ですが、確かに行事への参加者は数字的にも増えていますし、私も実感として感じています。必ずおはなしの会や絵本の会のあとで使用した本を紹介したり案内はしておりますが、本を借りることに、なかなかお母さん方は積極的にはなれない。だから、利用人数は増えるけれど貸出冊数として増にはなかなかならない。難しいところだなと思っていますので、単に行事を増やすというだけでなく、最終的には本を借りてお家でお母さんと楽しんでいただけたらなと思っていますので、そこも少しずつですが取り組みが出来たらと考えているところです。

(笹倉委員長) ありがとうございます。子どもと本を繋ぐという意味で行事をされていると思いますが、そのあたりはいかがですか。

(丸尾館長) 事業をしているのは、本との出会いのきっかけづくりということも当然考えておりまして、読書のまち芦屋ということで取り組みをしている

中では、先と同じことになりませんが、家庭内で親子で本を手にとってもらえるような働きかけという意味では公立図書館が果たせる役割が大きいと思いますので、そのあたりの取組みとしてどういう手法でアプローチしていくかということは考えていきたいと思っています。

(笹倉委員長) その他につきましてもありましたら。

(丸尾館長) それでは、28年度事業の中間報告をさせていただきます。9月1日に図書返却ポストをJR芦屋駅北側の憩いの広場内に新設いたしました。平成26年度に市役所地下駐輪場横設置しました際、協議会の中でもいろいろとご意見をいただいた事を踏まえ、今回は木材を使って温かみがあるものになるよう外観デザインについても考慮いたしました。市民の方にも親しみを持っていただけるようなポストになったのではないかと考えています。利用時間につきましては年末年始を除きまして終日利用可となっており、利便性はかなり向上したのではないかと考えております。現在の利用状況ですが、新設したJR芦屋駅の返却ポストにつきましては、9月から10月までの利用状況は一日平均156冊返却がされております。市役所の返却ポストについては一日平均93冊利用がありました。

また、この4月1日より打出分室のカウンター業務の民間委託にしております。それに伴い開室日を週4日から5日に変更しました。今後は、さらに利用を増やしていきたいと考えています。

あと、大原分室ですが、この11月より改修工事に入りまして来年の1月4日まで休室しております。長期保全が目的となっておりますが、室内の内装についても改修を行い、来年の1月5日より開室する予定となっております。28年度の事業については以上です。

(笹倉委員長) ありがとうございます。今の報告も含めまして何かありますか。

(布谷委員) 打出分室の運営の変更のときに、ボランティアさんに対し関係各位へ市長から感謝状を贈っていただき利用者としてうれしく、ここであらためてお礼申し上げます。一利用者の面から言いますと、スムーズに利用されていて今は新規の利用者も見受けられるようです。従事者の方もかなり運営を任されたという認識をお持ちでやられておられ、頼まれた本はすぐに出せるように端末の前に貼ったりとかして、いろいろ工夫されていることは非常によくわかります。

また、JR芦屋駅の返却ポストですが、私もいろいろ利用をさせてもらっていますが、先日加古川で悲しい事件がありました。返却ポストにコーヒーが入れられていたのですが、JRの返却ポストは飲食店の前に置いてあります。確かに雨もかからずあの場所がベストだとは思いますが、市役所に置いてある返却ポストと違って、本の投入口にメッシュの網みみたいなものが貼っ

てあります。

(丸尾館長) 入口から異物が入れられないように、例えばタバコの吸い殻などを除去するものです。

(布谷委員) その投入口で、お子さんが指をひっかけたりされると、非常に危ないと思います。異物混入の加古川の件もあるのでわかりますが、もう少し入口のあたりを改善していただければと思います。また、返却ポストを見て、「どこで本を借りたらいいのかわからない。」と話している方がおられました。大原分室が再開されたときには、「ここで借りられる。」と施設の案内として表示をしていただければと思います。

(笹倉委員長) ありがとうございます。異物除去などかなり工夫してあるようですが、子どもさんにとって危険だという点はもう一度点検していただいた方がいいと思います。他にありませんか。

(北里委員) 私も新しくできた返却ポストを見ました。布谷委員も言われていましたが、そこに図書館の施設案内があったらいいなと思いますし、市役所に置いてある返却ポストにも、図書館の案内やチラシを常時掲示することができないのかなと通るたびに思います。図書館を利用されている人は返却ポストがあれば助かると思いますが、図書館を利用されていない人に訴えかけるものを何か一つ工夫できるのではないかと思います。市役所の自転車置場には自由に借りられる本が置いてありますが、実物があつて目に訴えるということは、すごく大きいと思います。返却ポストに何か吊るすなり、貼られるなりができたらいいと思います。

(笹倉委員長) はい、ありがとうございます。

(松本素子委員) 返却ポストの形はどうあれ、設置されていることは神戸市の人からはいいねと言われます。神戸市にもいくつかありますが、最寄り駅などになかったりするので、芦屋市は小さい分、恵まれていると思います。通勤の時に返せるので、図書館まで行かなくてすむのは、すごく助かると思います。ですから、返却ポストがあることはいいと思います。

(枝元委員) 返却ポストに、広告・チラシを貼るとか設置することは、法律上問題ないのですか。

(丸尾館長) 市役所に置いてある返却ポストについては市の備品になりますので、図書館からのお知らせ等については問題がないと考えています。

(枝元委員) 市役所の返却ポストは、市役所の敷地内に設置してあると思いますが、JR芦屋駅の返却ポストは、張り紙など規制があるケースもあると思います。もし、問題がないのであれば、例えばイベントのようなものの広告塔にして使うのもいいのではないかと思います。

(布谷委員) 何かポスターみたいなキャッチがあつた方がいい気がします。

(丸尾館長) 市役所に置いてある返却ポストについては、行事のポスターを貼るなどこれまでも行っているのですが、JR 芦屋駅の返却ポストについては、先ほどお話がありました図書館施設の案内を何らかの形で掲示できないか、今後、検討したいと思います。

(笹倉委員長) ほか、ご質問ご意見、感想はないでしょうか。会議次第の2、その他も含めまして、全体的に何かありましたらお願いします。

(布谷委員) 最近、「芦屋市図書館」とネットで検索すると、「芦屋図書館求人」というキーワードが勝手についてくるんですが、それは何か委託先の方でそういう動きがあるのですか。

(越智主席係長) 4月の時点で、返本作業職員の入れ替わりがありまして、ハローワークに求人を出した経緯がございます。その時のものが残っているのかもわかりません。

(北里委員) 私は本館しか利用しないのですが、職員の方、嘱託の方、アルバイトの方などが働いていらっしゃると思いますが、年度替わりには顔ぶれも変わり、いろいろな方がいらっしゃいます。一般の利用者の方が、職員の方に「祝日は開館していますか。」とお尋ねになられた時、対応した方はお分かりにならなかったんですね。一般利用者から問合せ等があればきちんとお伝えできるようにしていただければと思います。

(丸尾館長) 利用者される方からすると、図書館のカウンターに立っていたり、フロアワークをしている職員が、基本的なことに答えられないということでは信頼していただけませんので、そのあたりはきちんと対応してまいりたいと思います。

(笹倉委員長) 業務委託者が変わられた際は、そういうことが出てくるかもしれないですね。わからないことについては職員に聞いて対応してもらうように徹底だけでもされていたら、やはり違うと思います

私の方からお聞きしますが、芦屋の図書館を利用している満足度という、そのような調査を最近されたことがありますか。また、高齢者の方の利用も増えていくと思いますので、そういったことで何か図書館を利用される方が芦屋市立図書館にどのような期待をされているのか、ご意見があるようでしたらお聞かせください。

(丸尾館長) 普段の要望につきましては、来庁者サービスアンケートというものがあって、サービスについてのご意見・要望や気づかれた点等ご意見をいただくアンケート用紙を常に置いております。利用者の実態調査につきましては、平成18年に一度実施しております。それ以降、利用者向けのアンケートは実施していなかったのですが、今年度、利用者の満足度等調査をしようと計画を進めているところです。

(笹倉委員長) いろいろご意見が出ましたが、他にありますでしょうか。

(丸尾館長) それでは、図書館からも伺いたいことがあります。よろしいでしょうか。

今、図書館本館も工事の予定がありまして、施設を利用する上で快適なものにしていくためにどういう形で実施していくか、調査をしていきたいと思っています。県内県外を問わず、これまでに皆さんが利用された図書館の中で参考になるような図書館があれば、教えていただけたらと思います。利用された施設で、こういう設備があつてすごく助かったとかよかったというのが何かありましたら、ご報告いただけたらと思います。

(水谷委員) 武庫川女子大学では、図書館の改装に伴って1階のフロアーにテイルームを設けました。飲み物もアイスクリーム等も自由にいただきながら本を読むスペースができて、本当に学生がよく来るようになりました。難しい問題だと思いますが、ちょっと寛げる空間というか、そういうものは必要だと思います。子どもさんも気分転換ができると、落ち着いてまた絵本を見たりできるのではないのでしょうか。

(笹倉委員長) すばらしいラーニングコモンズができたのですね。

(布谷委員) 私は個人的にこの近くでしたら東灘図書館が。配架がオープンで、書架と違ってスルーで見えるため、ああいう形の方が見やすくいいなと思いますね。

(枝元委員) 芦屋市として、どういったことを念頭に置かれるかによって、方向性に随分影響を受けると思います。滞在型とか寛ぎのスペースを念頭に置けばカフェを併設するとか、ゆったりとしたソファを置くとか、あるいは書架を低くして、開放的な居心地の良さみたいなものを追及するなど、そういう方向はあり得ると思います。また、従来の図書館として保存とか資料の提供ということに重きを置くとなってくると、今度はカフェ併設等が不都合になってきたりします。このバランスをどう考えるかということを見ておいた方がいいと思います。というのは、いろいろな施設の素晴らしいことばかりが見えてくるので、その成功事例に引きずられて造っていくというのはちょっと危険かなと思います。例えば、見栄えが良くて開放感があつて光がいっぱい入ってくるということでガラス張りの施設が最近はやっていますが、本の背表紙が焼けてどうしようもなくなったりとか、実際に使うとなったときに、非常に不便ということがあります。ですから、まず最初は、ビジョンだけカチッと決めてその上で考えていくというのも一つの方法かなと思います。

(笹倉委員長) 将来、芦屋市がどういうビジョンで図書館を創るか、「人づくり」「まちづくり」を視野に入れて図書館をやっていくのか、そういう他

市の情報も入れながら基本的には、芦屋市としてこういうものを創りたいという方向性、ビジョンをしっかりと持つということは、私もその通りだと思います。

八ヶ岳大泉図書館は、図書館施設の1/3を19時から22時まで開放にして、自動貸出にして自分で本を自由に借りることができます。働いている人に対しても工夫していると思いました。やっぱり市民のニーズがあってそれに対応する、そういう制度的なものもちょっと考えられてはどうかと思います。

(北里委員) 今いろいろな施設を利用して感じるのが、銀行にしろお店にしろ、高齢者のために銀行のカウンターの横にちょっと杖をかける所があったりとか、レジのところに荷物が置けたりとか、そういう施設が増えていると思います。私がこの図書館に来て思うのは、意外に机が少なく荷物を置くスペースがないのです。ちょっと荷物を置くスペースや、荷物が置けるように机が出るような椅子等があると便利ではないかと思います。

(布谷委員) 私は、本をたくさん借りて帰るのですが、カウンターなどにデコレーションなどをされておられて、潰してしまいそうでカバンは置けないですね。今はビジネスホテルのフロントでも荷物を置く場所がありますが、そういうのを置いていただくと非常に楽ですね。それなら改築とは関係なしにすぐにでもできるのではないかと思います。

(笹倉委員長) 利用者からの視点ですね。

(丸尾館長) 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。また、利用者アンケート、実態調査や、皆さんからいただいたご意見を参考にしながら施設については充実を図っていかねばと考えています。どうもありがとうございます。ありがとうございました。

(笹倉委員長) それでは、これをもって図書館協議会を閉会させていただきます。皆様から貴重なご意見をいただき、どうもありがとうございました。どうもお疲れ様でした。

以 上